

日 時：2011/12/15 14：00～15：30

対 象 町 名：中央一丁目

参加地権者数：101名／186名

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長補佐

3 説明事項（30分程度）

◇地区の復興計画について

◇河川堤防整備・災害復旧の予定について

◇再開発事業、優良建築物等整備事業、住宅地区改良事業について

4 意見交換（60分程度）

- ・今回の震災では下水道からの浸水被害が大きいと思うが、下水道の計画も進めているのか？具体的な位置なども教えてほしい。
⇒河川堤防の計画と合わせて下水道計画も進めている。特に、広小路の流末、NTTビルの流末などについては雨水排水ポンプ場を設置していくことが有力である。（基盤整備課）
- ・今回、掲示図面には示されていないが、門脇へ向かう県道についても河川堤防の整備に合わせ、計画していく考えである。2月、3月には堤防計画と合わせ、お示しできる。（基盤整備課）
- ・今回の説明会はグレーな部分が多い。震災から9ヶ月が経っており、建築制限も掛けられていたが、何の説明も無かった。門脇稲井線の拡幅エリアについて、これまで歯を食いしばって商売を再開、生活をしてきた人がいる。何のために門脇稲井線を拡張するのか？市民の安全の確保のために拡張するのであれば納得できるが、明確な理由はあるのか？安全のために我々がどこまで犠牲になるのか？安全は必要であるが、日常的な活動が犠牲になる人、住んでる人のこともいることを理解して欲しい。
⇒門脇稲井線は既決の都市計画道路であり、何で今頃整備するのかという気持ちも分かる。今回の震災を受け、骨格となる街路、高台へ向かうルートの整備が必要であると考えた。生活を再建している沿線の方々については、補償の問題についても今後、話し合いの機会を設けていきたいと考えている。また、市としては、河川沿線の安全性を確保するために、堤防の整備が必要であると考えている。（基盤整備課）

- ・ 個々の家々の再建・復興は止まっている。早期再建を目指して欲しい。
- ・ 都市計画（まちづくり）の方針を示すのが遅い。水産・商業関係のグループ補助金を計画しているが、3.11 までに申請しないと交付金が受けられない。交付金を受けて店をやり直したとしても、都市計画の関係で取り壊しになるのであれば、無駄になってしまう。本当に門脇稲井線の計画は必要なのか？明確な理由が欲しい。机上だけでなく、現場の実情、住む人の気持ちを考えてほしい。
⇒具体的な計画が示せず申し訳なく思っている。今回は、中央地区のまちづくりの方向性として、河川堤防と骨格道路の整備の考え方をお示しさせて頂いた。個別にお話をお伺いさせて頂きたい。（基盤整備課）
- ・ 門脇稲井線は何年前の都市計画道路だと思っている！
- ・ 何度、窓口に行っても、「国の方針が定まっていない」との回答であった。国の回答を待っているだけで、市の計画、考えはないのか？
⇒具体的な計画が提示できず、後手に回ってしまったことは申し訳なく思っている。12月に国の制度設計が固まったため、今後、具体的な計画に取り組んでいきたい。（基盤整備課）
- ・ （衆議院原口一浩事務所 大道氏）災害公営住宅の計画が 3,000 戸とのことだが、少ないのではないかと。また、今後、順次建設されていくことになると思うが、全くの抽選となるのか？地区毎に優先されるような考えはないのか？
⇒現在の計画としては 3,000 戸であるが、今後、意向調査等を踏まえ見直しを行っていく。また、選定方法は決定しておらず、地区毎に抽選を実施するようなことも検討している。（基盤整備課）
- ・ 河川堤防整備にあたる補償の考え方を教えて欲しい。建物を修理している方、修理していない方、取り壊した方など様々であるが、補償の考え方が一緒なら不公平感が否めない。
⇒国の制度に基づき、実施することになる。色んなパターンがあるが、現時点での鑑定で補償額が決まると聞いている。解体した場合は、現物がないため、現制度では補償が難しい。（基盤整備課）
- ・ 「早く壊せ」と市が言っていたのではないかと！
- ・ 建物のある、なしで補償がないのはおかしい！
- ・ 壊した人が損になるのはおかしい！
- ・ 市が責任をとるべきである！被災者を何だと思っている！

- ・ 掲示図面上、色がない部分はどうか？
⇒河川堤防ゾーンとなるため、現時点では明確にお示しすることができない。国土交通省の方で、測量・設計を行った後にお示しする形になる。

- ・ 「情報がない」「知らされてない」との理由から、後から不公平が生まれるようなことは避けてほしい。
- ・ 門脇稲井線は、本当に日和山の上まで延伸するような覚悟があるのか？
⇒市としては骨格道路の整備を実現していきたいと考えている。
- ・ 用地買収を行う場合、どこまで買い取りするのか？変な形で土地を残されても困る。
⇒買収の範囲、残地の問題などについても、今後の話し合いの中で決めていきたい。

- ・ 門脇稲井線については、日和山の上まで整備しなければ意味のない道路である。途中で幅が狭くても、その先が狭ければ避難時に自動車渋滞が発生してしまう。湊地区の牧山のような事態（渋滞して避難が遅れる）に陥ってしまう。
⇒道路整備については、沿道の方々と話し合いをさせて頂き、決定していきたいと思う。無理に強いる事は無く、話し合っ決めていきたい。

- ・ スケジュール上、平成 25 年度から都市計画道路の工事を行う予定となっているが、それまでの間どうしてれば良いか？家をどうしていたら良いか？
⇒来年 3 月まで話し合いを続けさせて頂き、堤防計画の決定に合わせ、地区のまちづくりも決定していきたいと思う。どうしても急ぎたい場合は、個別に相談してほしい。

以上